

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	05 04 02	中期総合計画主要施策番号	1-03,5-06	担当課	部・課	環境部生活排水課	
事業名	農業集落排水事業（公共【農業集落排水】）				内 線	3377	
					E-mail	seikatsuhaisui@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	S56 ~	根拠法令等	地域自主戦略交付金交付要綱（農林水産省）、長野県「水循環・資源循環のみち2010」構想				
実施方法	農業振興地域内の農業集落で、市町村が行う施設の整備又は改築に対する補助					国庫・県単	補助公共

事業の概要等	目的（必要性）	生活環境が衛生的に保たれるとともに、きよらかな水環境が持続されること。
	対 象	農業振興地域内の農業集落の住民等
	目指すべき姿	施設の持続的かつ効率的な管理運営（施設の改築・機能保全を含む。）を行うことで、農村生活環境の改善と農業用排水の水質保全を図る。（新規の施設整備はH21年度末に終了。） （汚水処理人口普及率 平成27年度末 98.1%（下水道、浄化槽等を含む。））
	事業内容	農業振興地域内の農業集落で、市町村が行う汚水処理施設・管路施設・資源循環施設の整備又は改築に対する補助（補助率【国】1/2【市町村】1/2）

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度（当初）	23年度事業費の主な内訳 農業集落排水施設の改築及び機能保全に係る補助150,000千円 ・機能強化対策（3地区）： 新野（阿南町）、伴野（豊丘村）、千国（小谷村） ・機能診断調査（3地区）： 飯田市、駒ヶ根市、小谷村 1箇所当平均工事期間 1.7年
	最終予算額（A）		千円	77,461	155,670	57,215	
	決 算 額（B）		千円	77,461	129,020		
	B（H24はA）のうち一般財源	千円	1,801	5,670	2,215		
	概 算 人件費	人	2.00	2.00	2.00		
	概算事業費（B（H24はA）+ C）	千円	77,461	129,020	57,215		

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度（見込）	左記以外のH23年度実績
	事業実施地区数（活）	地区	7	6	4	H23完了地区数：4地区（6地区中）
	<効率指標（単位当たりコスト等）> 1事業実施地区当たりの事業費	千円	11,066	21,503	14,304	<効果指標> 1事業実施地区当たりの事業費は、各地区の事業内容及び規模が異なるため事業効果を示さない。 汚水処理人口普及率は、下水道、浄化槽等を含む。
	<効率指標（単位当たりコスト等）> 汚水処理人口普及率（下水道等含む）	%	95.3	96.1	96.6	

事業の成果	事業の目標（H23）			事業成果・評価		評価区分
	・適正な維持管理を行うため、老朽化した農業集落排水施設の改築（機能強化対策事業）を3地区行う。 ・効率的な汚水処理施設整備となるように見直しを行い、H24までに汚水処理人口普及率を96.6%とする。			・老朽化した農業集落排水施設の改築（機能強化対策）は、予定どおり3地区実施した。 ・効率的かつ合理的な汚水処理施設の見直しを行い、下水道、浄化槽等を含めた汚水処理人口普及率は、H22末95.3%となり、H24の目標達成に向けて順調に推移している。		b 期待どおり

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判 定 の 説 明 ・新規の施設整備は終了し、今後は機能強化、施設の更新へニーズが移行していく。 ・22年度に市町村と県が協働し、策定した長野県「水循環・資源循環のみち2010」構想において、今後の処理区域の再編を明らかにする等個々の事業の有効性や効率性が高まった。 ・今後も事業効果の早期発現のため、関連市町村と連携し、一層の重点化、コスト縮減等、効率化を図っていく。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善（有効性・効率性）の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析（今後の課題、取組方針等）	・概ね期待どおりの成果が得られている。今後は、年々増えつつある施設の改築（機能強化対策）への対応を図っていく必要がある。 ・効率的な汚水処理施設整備の見直しについては、長野県「水循環・資源循環のみち2010」構想の推進の中で、生活排水施設の処理区域統合・再編成の推進等を進める。
	特記事項	